



2020年10月30日

各位

会社名株式会社ファンデリー  
代表者名代表取締役阿部公祐  
(コード番号: 3137 東証マザーズ)  
問合せ先取締役 茅野智憲  
経営管理本部長  
(TEL. 03-6741-5880)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年4月30日に公表した業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

#### 1. 2021年3月期 通期業績予想の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,028	500	491	314	48円77銭
今回修正 (B)	3,350	△295	△298	△243	△38円22銭
増減額 (B-A)	△1,678	△795	△790	△558	
増減率 (%)	△33.4	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	3,348	539	536	345	51円81銭

#### 2. 修正の理由

2021年3月期通期の業績につきましては、MFD (Medical Food Delivery) 事業において、新型コロナウイルス感染症による外来患者の減少等の影響を受け、紹介ネットワークを通じた顧客獲得が当初の想定を下回っていることから、売上高2,829百万円 (当初予想3,328百万円)、セグメント利益 (営業利益) 672百万円 (当初予想727百万円) となる見込みです。

また、CID (Cooking Immediately Delivery) 事業においては、『旬をすぐに』販売開始が遅れ、認知度向上が思うように進まなかったことにより顧客獲得が当初の想定を大きく下回ったこと、また、損益分岐点未達に伴う在庫評価損の計上並びに減価償却費及び広告宣伝費が増加したことから、当初の想定を大幅に下回り、売上高20百万円 (当初予想1,200百万円)、セグメント損失 (営業損失) 954百万円 (当初予想241百万円) となる見込みです。

これらの結果、売上高が当初予想を下回り、営業損失、経常損失、当期純損失となる見込みと

なります。

なお、2021年3月期の期末配当金につきましては、公表しております1株当たり3円の配当予想に変更はありません。

(注)上記の予想は、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後の決算において発生する様々な要因により、予想数値とは異なる場合があります。

以上